

京子のぶっちゃけ話

今までは…

ぱわはら

うけこ



まずは……言い訳から（まえがきにかえて）



姉の追悼集『山に還る』の出版から始まり、父母の自転車屋の本、自分の本……と気がつけば8冊も！（もう止めとこう……）と思いながら、病膏盲に入る!? 状態に。読後アンケートの感想の殆どに「次が楽しみ！」とあるのが更に拍車をかける。（あなた！書いたでしょ!?)

（そりゃ、生きてるからネタは次々出てくるし、ストレス発散に、文やイラスト書くと気持ちが落ち着くよ。でも、そうそう出版ばかり、ねえ。お金に困ってはないけど～）

じゃあ、もっとお気楽、お手軽なん作ったらええが！

……という訳で、丸善の早瀬氏とあれこれ相談の上、今回の『京子のぶっちゃけ話』を作ることになった次第です。

まあ、付録のような？ 作る側も読まれる方も肩肘張らないものに……なってるかな？ これなら度々作りやすいし……。

また率直な、忌憚のないご意見、ご感想をよろしく願いますね!!

河原 京子

「ネタに……、その後」

今までの私の本の中で、いいこと、感動的な出会い、面白いできごと……で登場してもらった方々。喜んでくださる方もあるが、中には……。

無反応ならまだしも、思いがけない行動の方もおられ、がっくし！裏切られた感！

今回は、趣向を変え？ブラックぽいネタ。ご本人は読まれない……という前提で書く。

反響や如何に!?



「書くことは……」

ちょっと前までは、「(本を) 書けて凄いですね～!!」と言われたら、「書く……なんて誰にでもできること」と返していた。内心(多少の上手下手はあっても……)と思いながら。

しかし、発達障害、学習障害、アスペルガー等の中には、知的に問題はなくても、文字に表せない、書けない……という人も多くいるようだ。

こみ上げるように文章が出てくる、書ける……ありがたいことと思った。



「ヨーコさん」

昨春、入院した時、私の本を見た隣のベッドの人が、「NHK、Eテレのヨーコさんみたい」と言われた?? 私は知らなかった。退院して金曜日の夜、Eテレを見てみた。イマイチ心に届かなかった。

図書館で「ヨーコさんの言葉」シリーズや、「死ぬ気まんまん」など借りて読む。佐野洋子さんは、すでに72歳で亡くなっている。イラストは洋子さんが描いていないが、素朴ながら的をついたタッチがいい! 私もあんな生き方、描き方したい……。いろんな意味でとても参考になった。顔のホクロがいい!